

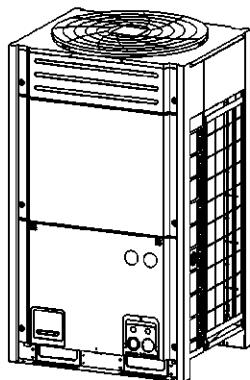


# 取扱説明書

空冷ヒートポンプVRVエアコン

## ビル用マルチVe-up IIシリーズ

《セパレート形》



### 室外ユニット

- 該当システムにチェックしてください。  
Ve-up IIシリーズ   
Ve-up II Rシリーズ   
Ve-up II Cシリーズ

- このたびは弊社製品をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。  
**正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。**  
お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。  
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- 室内ユニットについては、室内ユニット付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。  
室内ユニット付属の取扱説明書は、この取扱説明書とともに大切に保管してください。  
保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

### ご使用の前に

#### 安全について

必ず守ってください ..... 1

#### ご使用前に

必ずお読みください ..... 4

室外ユニット各部の名前と働き ..... 6

リモコン各部の名前と働き ..... 6

冷暖切換リモコン ..... 6

リモコン ..... 7

### 運転について

#### 運転のしかた

冷房・暖房・送風運転のしかた ..... 9

リモコンより運転モードの切換えを行う場合 ..... 9

冷暖切換リモコンより運転モードの切換えを行う場合 ..... 11

マイコンドライ運転のしかた ..... 13

リモコンより運転モードの切換えを行う場合 ..... 13

冷暖切換リモコンより運転モードの切換えを行う場合 ..... 14

風向調節のしかた ..... 15

タイマー運転のしかた ..... 17

冷暖選択権の変更および設定 ..... 19

複数台同時運転の場合 ..... 21

上手な使いかた ..... 21

### お手入れについて

#### お手入れのしかた

シーズン始め・終わりのお手入れ ..... 22

### 知っておいてください

調子がおかしいときは ..... 23

製品の種類と運転音 ..... 28

アフターサービスと保証について ..... 29

お客様ご相談窓口 ..... 裏表紙

(上手に使って上手に節電)

# 安全について 必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

|            |   |
|------------|---|
| <b>△警告</b> | 誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。                            |
| <b>△注意</b> | 誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。<br>状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。 |

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

|  |                    |  |                  |  |                 |
|--|--------------------|--|------------------|--|-----------------|
|  | 絶対にしないでください。       |  | 必ず指示どおりに行ってください。 |  | 必ずアース工事をしてください。 |
|  | 絶対にぬれた手で触れないでください。 |  | 絶対に水にぬらさないでください。 |  |                 |

## △警告 使用上の注意事項

- 長時間冷(温)風を体に直接当てない、  
冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない  
体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

- 吸入口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない  
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。



禁止

- 分解や改造・修理をしない  
水もれや感電・火災の原因になります。  
お買上げの販売店にご依頼ください。



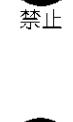
禁止

- 調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない  
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



禁止

- 調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない  
火災や故障の原因になります。



禁止

- 冷媒がもれたら火気厳禁  
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありますが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。  
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

- ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、  
正しい容量のヒューズ以外は使用しない  
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。



禁止

- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない  
ベンジン・シンナーで本体をふかない  
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



禁止

- 電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない  
火災や水もれの原因になります。  
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。



禁止

- 異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源をしゃ断する  
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。  
お買上げの販売店にご連絡ください。



- 洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、  
お買上げの販売店に相談する  
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。



- 室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する  
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。  
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。



## ⚠ 注意 使用上の注意事項

●特しゅ用途には使用しない

精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特しゅ用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。



禁止

●長期使用などで傷んだままの据付台を使用しない

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。



禁止

●室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒などにより、けがの原因になります。



禁止

●室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない

運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口のつまりで水が滴下し、家財などをぬらす原因になります。



禁止

●エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。



禁止

●室内ユニットの真下でほかの暖房器具を使わない

暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。



禁止

●動植物に直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼす原因になります。



禁止

●吹出口の1m以内にスプレー缶などを置かない

室内・室外ユニットからの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。



禁止

●本体やリモコンで遊ばせない

誤った操作によっては体調悪化や健康障害の原因になります。



禁止

●室内・室外ユニットの吸込口・吹出口やアルミフィンにさわらない

けがの原因になります。



禁止

●室外ユニットの吹出口を取り外さない

高速で回転するファンにより、けがの原因になります。



禁止

●吸込口や吹出口をふさがない

能力低下や故障の原因になります。



禁止

●リモコンは絶対に分解しない

内部を手で触ると感電や故障の原因になります。  
内部の点検調整はお買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない

落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になります。



禁止

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止

●室内・室外ユニットを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になります。



水ぬれ禁止

●床置形室内ユニット・室外ユニットの上に花びん・植木鉢など、水の入った容器を置かない

漏電によって感電や火災の原因になります。



水ぬれ禁止

●ときどき換気を行う

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。  
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。



●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源をしゃ断する

電源をしゃ断しないと感電やけがの原因になります。



●長時間使用しないときは、電源をしゃ断する

ホコリがたまって発熱・発火の原因になります。



●高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になります。



## ⚠ 警告 据付上の注意事項

### ●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、  
水もれ・感電・火災の原因になります。  
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

### ●別売品の取付けは、自分でしない

別売品は当社指定以外のものは使用しない  
取付けに不備があると、水もれ・感電・  
火災の原因になります。  
お買上げの販売店または  
コンタクトセンターにご依頼ください。  
(裏表紙参照)



禁止

### ●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、  
水もれ・感電・火災の原因になります。  
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

### ●アース工事を行う

アースが不完全な場合は、感電や火災の原因に  
なります。  
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話の  
アース線に接続しないでください。



禁止

### ●漏電しや断器を取り付ける

取り付けないと感電や火災の原因になります。



### ●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する

専用以外の電源を使用すると発熱・火災・  
故障の原因になります。



### ●冷媒もれ対策は、販売店に相談する

万一、冷媒がもれて限界濃度を超えると、  
酸欠事故の原因になります。  
小部屋に据え付ける場合は、冷媒がもれても  
限界濃度を超えないように対策する必要があります。



## 据付場所について

### ●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

### ●次のような場所では使用しないでください。

- 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 落ち葉が堆積するところや雑草が生い茂るところ

### ●防雪対策されていますか？

防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

## 電気工事について

### ●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。

お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないで  
ください。

### ●エアコン専用の回路をご使用ですか？

専用以外の回路を使用すると、発熱・火災・故障などの  
原因になります。

## 運転音にもご配慮を

### ●次のような場所を選んでいますか？

- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しない  
ようなところ
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑に  
ならないようなところ

### ●室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？ 機能低下や運転音増大の原因になります。

### ●使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談 ください。

## ドレン配管の排水について

### ●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？

冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、  
ドレン配管内でゴミ・ホコリなどがつまり、室内ユニット  
から水がもれる原因になることがあります。  
運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

# 必ずお読みください

ご使用前に

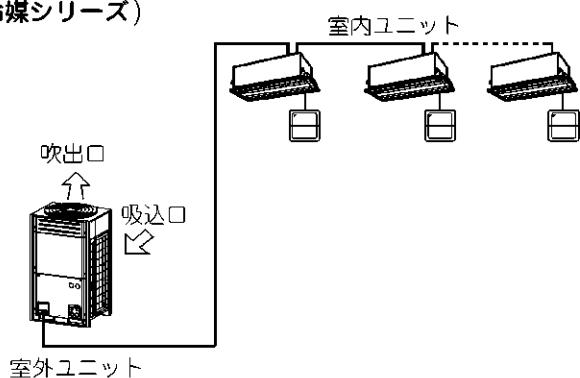
この取扱説明書には、次のビル用マルチシステムについての説明が記載されています。  
どのシステムを設置されているかお買上げの販売店に確認してから操作してください。

## Ve-up II シリーズ (R410A 新冷媒シリーズ)

(冷暖切換運転システム)

(P450形以下)

- 冷房・暖房・送風運転ができます。
- 運転の切換えはリモコンまたは  
冷暖切換リモコンで行います。

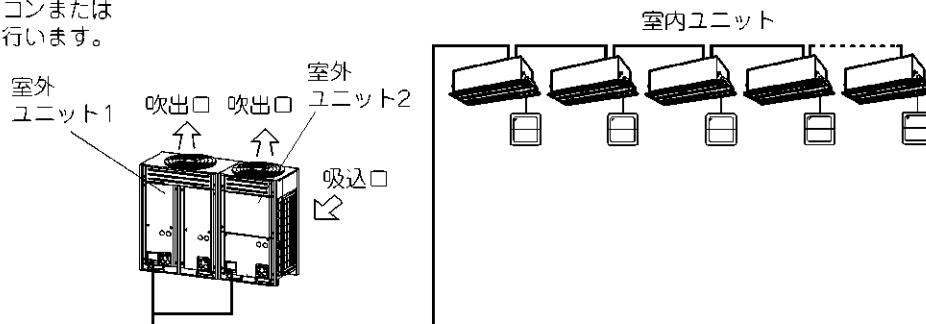


## Ve-up II シリーズ (R410A 新冷媒シリーズ)

(冷暖切換運転システム)

(P504形以上)

- 冷房・暖房・送風運転ができます。
- 運転の切換えはリモコンまたは  
冷暖切換リモコンで行います。

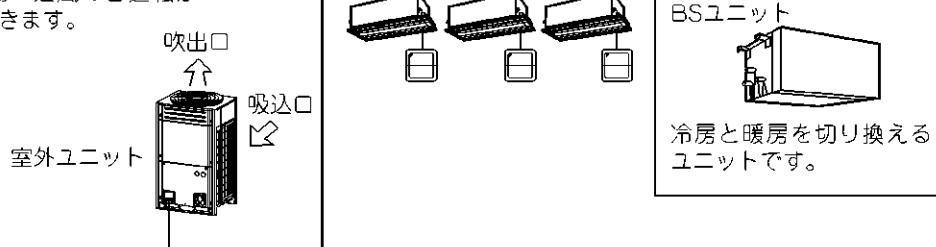


## Ve-up II R シリーズ (R410A 新冷媒シリーズ)

(冷暖同時運転システム)

(P450形以下)

- 冷房・暖房・自動・送風の各運転が  
リモコンで選択できます。

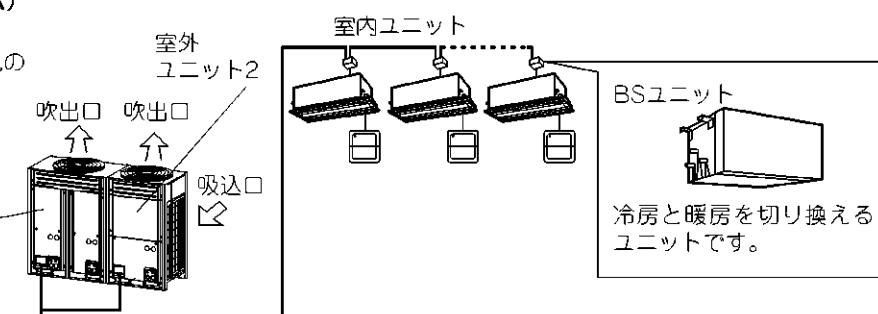


## Ve-up II R シリーズ (R410A 新冷媒シリーズ)

(冷暖同時運転システム)

(P504形以上)

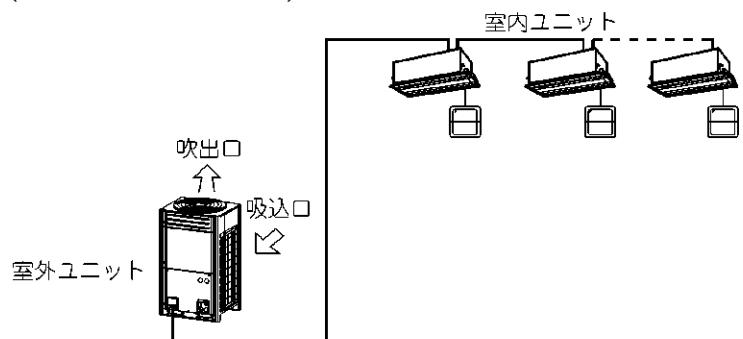
- 冷房・暖房・自動・送風の  
各運転がリモコンで  
選択できます。



ご使用の前に

## Ve-up II C シリーズ (R410A 新冷媒シリーズ)

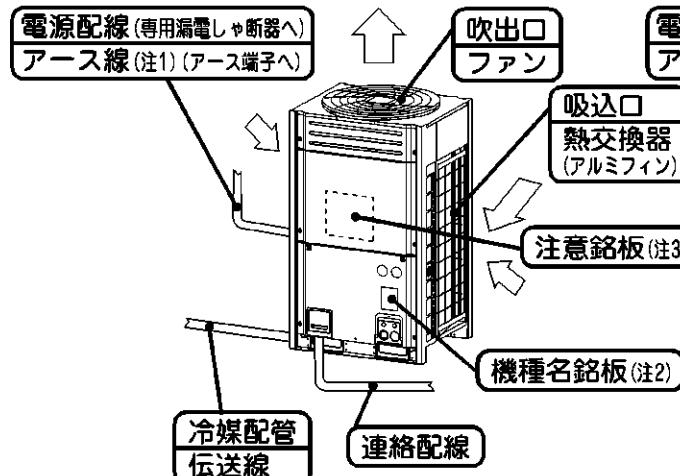
- 冷房・送風運転ができます。



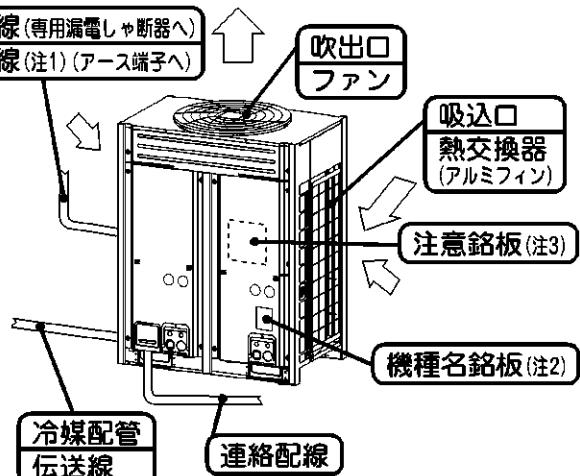
# 室外ユニット各部の名前と働き

## 室外ユニット

<P140～P280形の場合>



<P335～P450形の場合>



(注1) アース線は、万一の感電・火災防止のため、室外ユニットから大地へ電気を逃がす線です。

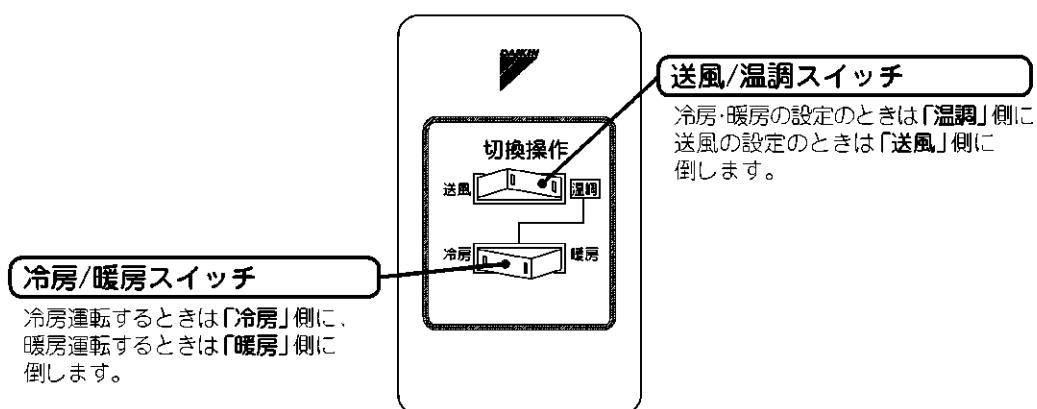
(注2) 機種名・主仕様・製造番号・工場出荷時の冷媒量およびGWP(地球温暖化係数)などが記載されています。

(注3) サービスマンが作業するうえでの注意事項、追加充てんまたは再充てんされたあとのシステム全体の冷媒量およびGWP(地球温暖化係数)などが記載されています。

ご使用の前に

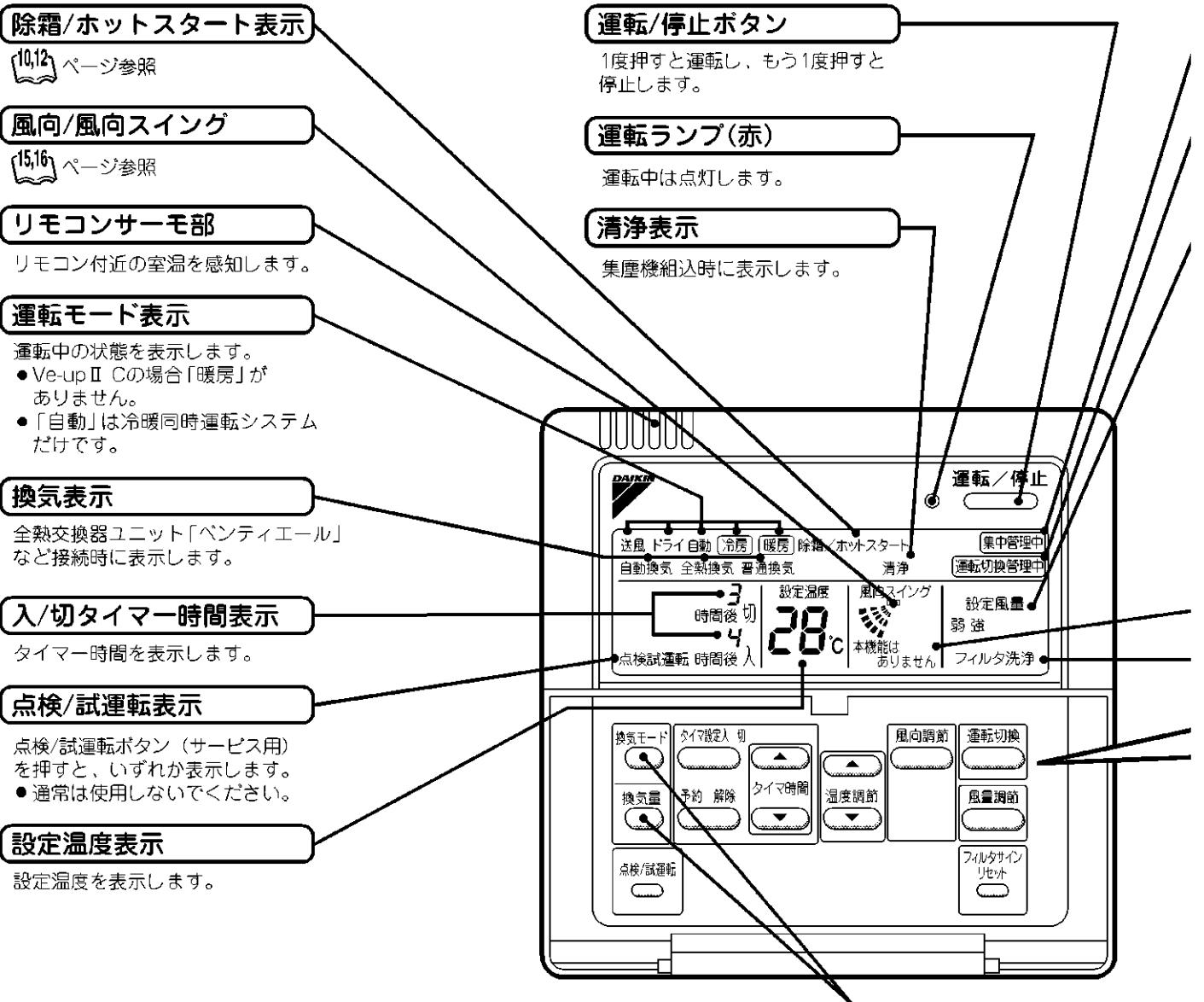
## リモコン各部の名前と働き

### 冷暖切換リモコン (室外ユニットより冷房・暖房を切り換える場合に使用します。)



# リモコン

- リモコンにはBRC1Cタイプ・BRC1Eタイプの2種類があります。室外ユニットの種類により組み合わせるリモコンが異なります。
- 本文の説明はBRC1C1で記載しています。ご使用のリモコンがBRC1Eタイプの場合は、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 室内ユニットにより装備している機能が異なります。装備されていない機能のボタン(本文中に記載のないボタン)を操作した場合には、「本機能はありません」が表示されます。  
機能の詳細については、お買い上げの販売店にご確認ください。



全熱交換器ユニット「ベンティエール」など接続時に使用します。詳細は全熱交換器ユニットの取扱説明書をご覧ください。

## 表示部

(上の表示は説明のため、すべてを表示しています。  
(実際の運転時とは異なります。)

### 集中管理中表示

集中制御機器(別売品)で管理され、リモコンからの操作が禁止されているときに表示します。

### 運転切換管理中表示

この表示のあるリモコンは「冷房」・「暖房」の切換えができません。

[19,20 ページ参照](#)

### 風量表示

設定した風量を表示します。

### 機能なし表示

- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には「本機能はありません」と数秒間表示が出ることがあります。
- 複数台同時運転の場合([21 ページ参照](#))「本機能はありません」表示はすべての室内ユニットにその機能が装備されていないときに限り表示されます。1台でもその機能を装備した機種があれば表示されません。

### フィルター洗浄表示

室内ユニット付属の取扱説明書を参照してください。

お願い

- リモコンは直射日光の当たる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
- リモコンコードを引っ張ったり、ねじったりしないでください。故障の原因になることがあります。
- リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。

### タイマー設定入/切ボタン

[17,18 ページ参照](#)

### 予約/解除ボタン

[17,18 ページ参照](#)

### 風向調節ボタン

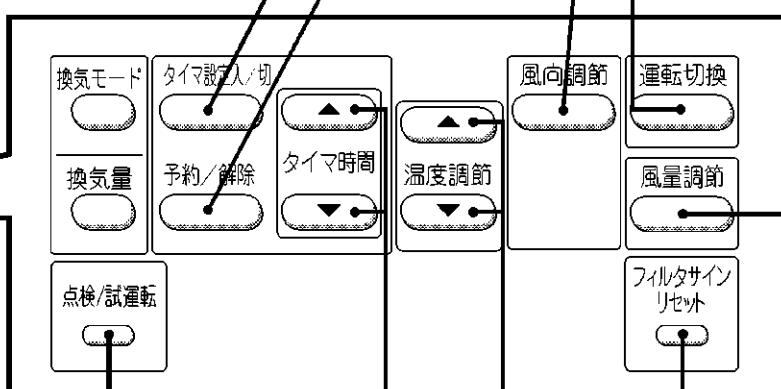
[15,16 ページ参照](#)

### 運転切換ボタン

- 運転モード(「冷房」・「暖房」・「送風」・「ドライ」)を切り換えるときに押します。
- 冷暖選択権を設定するときに押します。

### 風量調節ボタン

このボタンを押すごとに「弱」・「強」の2段階の調節ができます。



### 点検/試運転ボタン(サービス用)

- 点検または試運転時に押します。  
●通常は使用しないでください。

### タイマー時間ボタン

タイマー時間の設定のときに押します。

[17,18 ページ参照](#)

### フィルターサインリセットボタン

室内ユニット付属の取扱説明書を参照してください。

### 温度調節ボタン

温度の設定のときに押します。

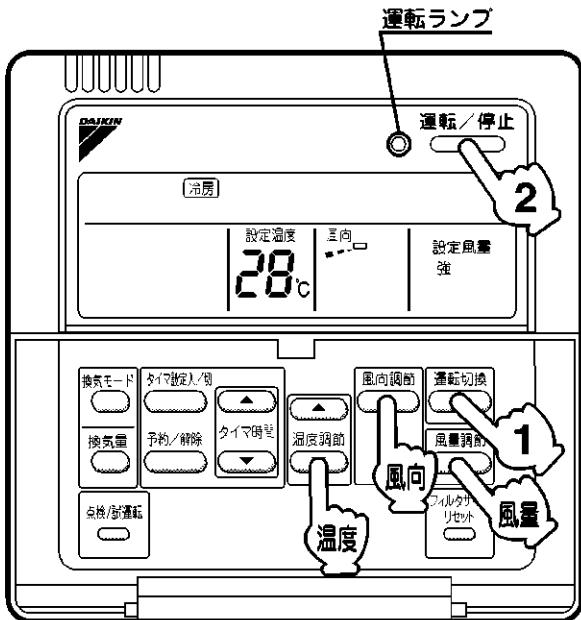
[10,12 ページ参照](#)

## 操作部

(上の図はふたを開けた状態を示しています。)

# 運転のしかた

## 冷房・暖房・送風運転のしかた—リモコンより運転モードの切換えを行う場合



- 上の表示は冷房運転の場合です。

### 準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

### 1

#### 運転切換

を数回押し、  
「送風」→「ドライ」  
「暖房」→「冷房」

のうちご希望の運転に切り替えます。

※ドライ(マイコンドライ)は [13,14](#) ページ参照

- 「自動」は冷暖同時運転システムのみ設定可能です。  
Ve-up II C の場合はすべてのリモコンに「運転切換管理中」の表示が出ますが「冷房」と「送風」のみ設定可能です。

### お願い

- 運転の切換えは「運転切換管理中」の表示のないリモコンで行ってください。 [19,20](#) ページ参照

表示のあるリモコンでは冷房・ドライ・暖房の切換えができません。

「運転切換管理中」の表示が点滅している場合は [19,20](#) ページを参照してください。

### 2

#### 運転/停止

を押します。  
運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

## 運転の内容と働き

### 冷房

おすすめ設定温度は、26~28°Cです。

### 暖房

おすすめ設定温度は、18~23°Cです。

### 送風

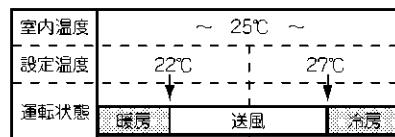
室内の空気を循環させます。

#### 自動(冷暖自動) (冷暖同時運転システムのみ)

- 運転中、ある室内温度を境に自動で  
冷房運転 → 暖房運転が切り換わります。
- 設定温度は変更できますが、運転モードが切り換わると自動で設定温度も変更します。  
(室温を一定に保つ運転ではありません。)  
「自動冷房」→「自動暖房」時は5°C設定温度が下がります。  
「自動暖房」→「自動冷房」時は5°C設定温度が上がります。
- 「冷房」「暖房」が切り換わるときに、設定温度も変わります。

#### 例 「自動冷房」で27°Cにセットされた状態から、室内温度が

下がり25°C以下になると「自動暖房」に切り換わります。  
その時、設定温度は22°Cに変更され、さらに室内温度が下がり22°C以下になったところで暖房運転が始まります。  
暖房→冷房の時も同様になります。



## 温度・風量・風向の設定

### 温度

温度調節を押します。

「▲」を押すごとに1℃ずつ上がります。  
「▼」を押すごとに1℃ずつ下がります。

- 設定可能範囲は冷房20~35℃、暖房15~30℃です。
- 送風運転の場合は設定できません。

### 風量

風量調節を押し、

「弱」「強」のうちご希望の運転に切り替えます。

- 機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
- 室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。また、ファンが停止する場合もありますが、異常ではありません。
- 風量の切換完了までに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

### 風向

風向調節を押します。

15,16 ページ参照

### 停止

もう一度運転/停止を押します。

運転ランプが消灯し、運転を停止します。

- 暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約1分間は送風運転します。

### 使用条件（吸込空気条件）

#### Ve-up II・Ve-up II Rシリーズ

| 運転モード | 室外温度    | 室内温度   | 室内湿度  |
|-------|---------|--------|-------|
| 冷 房   | -5~43℃  | 21~35℃ | 80%以下 |
| 暖 房   | -20~24℃ | 15~27℃ | —     |

#### Ve-up II Cシリーズ

| 運転モード | 室外温度   | 室内温度   | 室内湿度  |
|-------|--------|--------|-------|
| 冷 房   | -5~43℃ | 21~35℃ | 80%以下 |

連続運転をされる場合は、上表の使用条件内でご使用ください。上記の使用条件外で連続運転をされると、水もれの原因になったり、機械保護のために停止することがあります。



- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。

## 暖房運転の特性

### 運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

### 暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

#### 除霜運転

(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するため自動で除霜運転に切り換わります。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 約6~8分(最長15分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。(24 ページ参照)

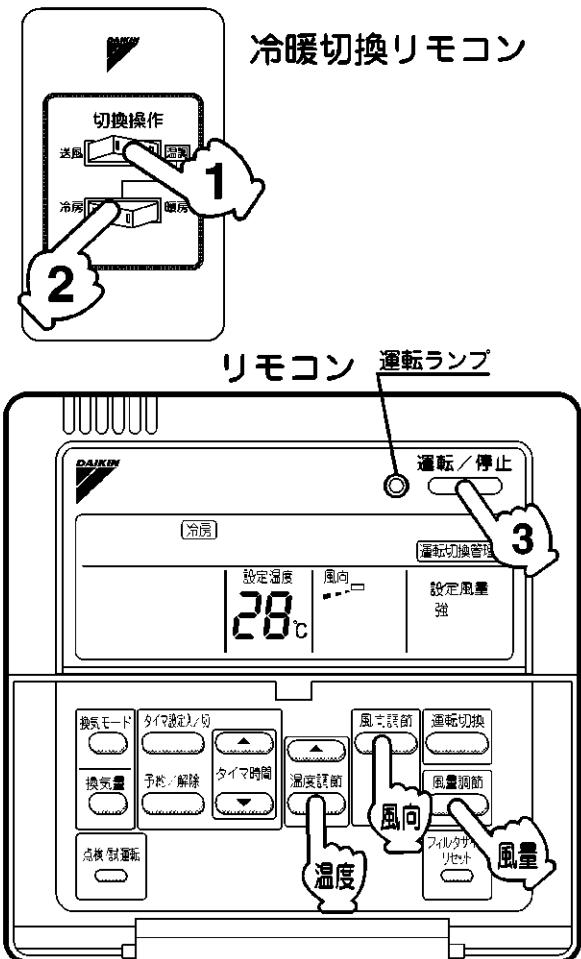
#### ホットスタート

- 暖房運転開始時、除霜運転時など冷たい空気が吹き出すのを防ぐため送風を停止します。(FBXY型は、微風運転となります。)  
このときリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 約6~8分(最長15分)で、元の運転に戻ります。

### 外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。  
このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。  
(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)  
エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーフィューレータ(室内循環用ファン)のご使用をおすすめします。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

# 冷房・暖房・送風運転のしかた—冷暖切換リモコンより運転モードの切換えを行う場合



•上の表示は冷房運転の場合です。

冷暖切換リモコン

## 準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

## 冷暖切換リモコン

### 1

- 「冷房」・「暖房」の場合は「温調」側に、「送風」の場合は「送風」側にスイッチを倒します。

### 2

- 「冷房」・「暖房」のうちご希望の側にスイッチを倒します。

## リモコン

### 3

- 運転/停止を押します。  
運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

## 運転の内容と働き



## 温度・風量・風向の設定

### 温度

温度調節を押します。

「▲」を押すごとに1℃ずつ上がります。  
「▼」を押すごとに1℃ずつ下がります。

- 設定可能範囲は冷房20~35℃、暖房15~30℃です。
- 送風運転の場合は設定できません。

### 風量

風量調節を押し、

「弱」「強」のうちご希望の運転に切り替えます。

- 機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
- 室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。また、ファンが停止する場合もありますが、異常ではありません。
- 風量の切換完了までに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

### 風向

風向調節を押します。

15,16 ページ参照

### 停止

もう一度運転/停止を押します。

運転ランプが消灯し、運転を停止します。

- 暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約1分間は送風運転します。

### 使用条件（吸込空気条件）

#### Ve-up II・Ve-up II Rシリーズ

| 運転モード | 室外温度    | 室内温度   | 室内湿度  |
|-------|---------|--------|-------|
| 冷 房   | -5~43℃  | 21~35℃ | 80%以下 |
| 暖 房   | -20~24℃ | 15~27℃ | —     |

#### Ve-up II Cシリーズ

| 運転モード | 室外温度   | 室内温度   | 室内湿度  |
|-------|--------|--------|-------|
| 冷 房   | -5~43℃ | 21~35℃ | 80%以下 |

連続運転をされる場合は、上表の使用条件内でご使用ください。上記の使用条件外で連続運転をされると、水もれの原因になったり、機械保護のために停止することがあります。



- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。

## 暖房運転の特性

### 運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

### 暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

#### 除霜運転

(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するため自動で除霜運転に切り換わります。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 約6~8分(最長15分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。 24 ページ参照

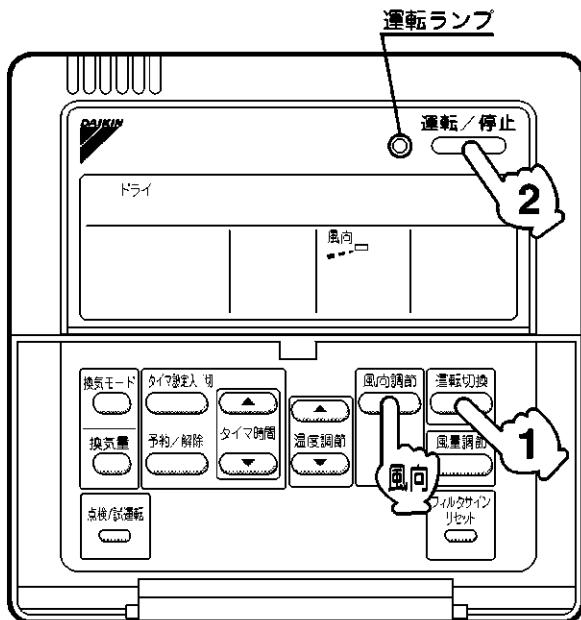
#### ホットスタート

- 暖房運転開始時、除霜運転時など冷たい空気が吹き出すのを防ぐため送風を停止します。(FBXY型は、微風運転となります。)  
このときリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
- 約6~8分(最長15分)で、元の運転に戻ります。

### 外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。  
このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。  
(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)  
エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーフィューレータ(室内循環用ファン)のご使用をおすすめします。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

# マイコンドライ運転のしかた——リモコンより運転モードの切換えを行う場合



- 設定温度と設定風量は自動でコントロールするため表示されません。

## 準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。
- 冷房表示になっていない場合は  
[9] ページを参照して、「冷房」に切り換えてください。  
「冷房」表示にならないと、「ドライ」への切換ができません。

1

運転切換を数回押し、「ドライ」に切り換えます。

2

運転/停止を押します。  
運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

## 風向を変えたいときは

風向

風向調節を押します。  
[15,16] ページ参照

停止

もう一度運転/停止を押します。  
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

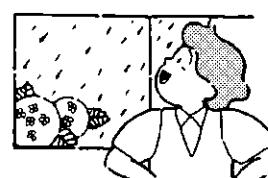
お願い

- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。  
ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。  
水もれや故障の原因になることがあります。

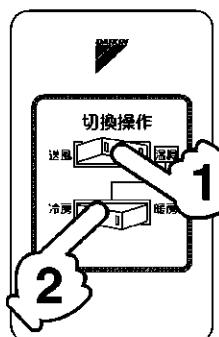
## 運転の内容と働き

### マイコンドライ

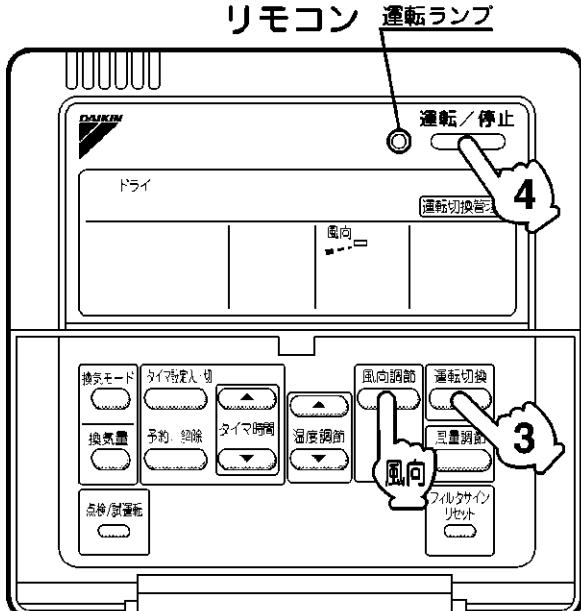
- マイコンドライとは、冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返し温度と風量を自動でコントロールすることで湿気を取る機能です。



# マイコンドライ運転のしかた—冷暖切換リモコンより運転モードの切換えを行う場合



冷暖切換リモコン



- 設定温度と設定風量は自動でコントロールするため表示されません。

- お願い**
- 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。  
ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。  
水もれや故障の原因になることがあります。

## 準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

## 冷暖切換リモコン

1

温調の側にスイッチを倒します。

2

冷房の側にスイッチを倒します。

## リモコン

3

運転切換を数回押し、「ドライ」に切り換えます。

- 床置形室内ユニットの場合は「ドライ」への切換えができません。

4

運転/停止を押します。  
運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

## 風向を変えたいときは

### 風向

風向調節を押します。  
15,16 ページ参照

### 停止

もう一度運転/停止を押します。  
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

運転について

## マイコンドライ運転について

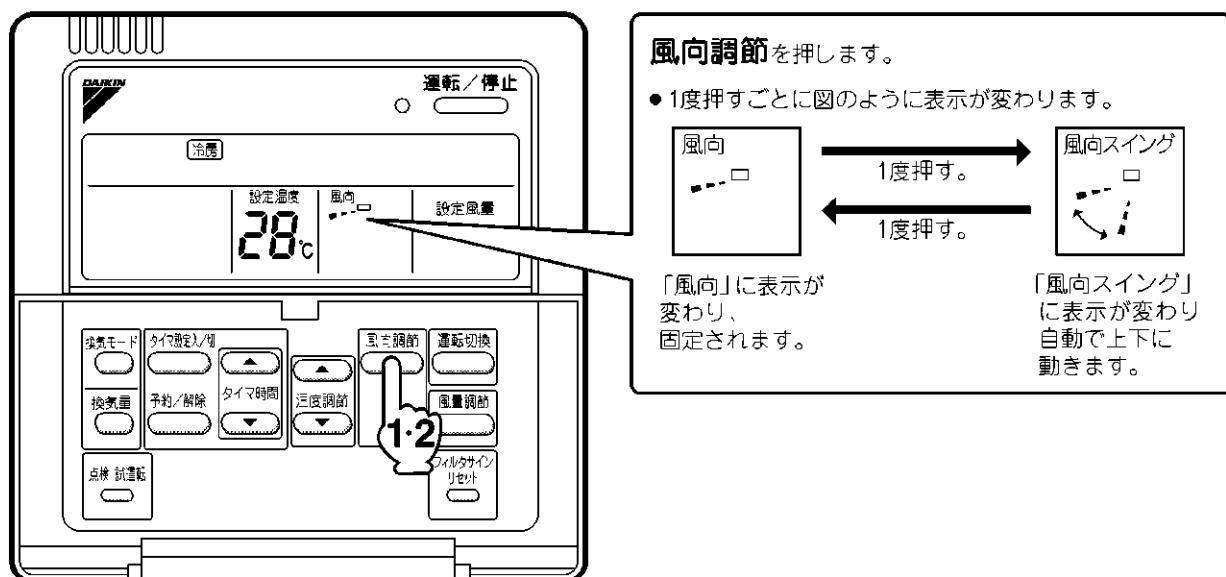
- 運転中は温度の設定・変更はできません。  
23 ページ参照

※冷えすぎる場合は、一度冷房運転に切り換えてから運転を停止し、適温になってから再度マイコンドライ運転をしてください。

(注) 室温が20°C以下の場合、マイコンドライ運転はできません。

- 運転中の風量の設定・変更はできません。
- 湿度の調節はできません。

# 風向調節のしかた



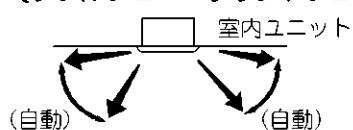
## 運転の内容と働き

風向調節には次の2通りがあります。※風向羽根の可動範囲は室内ユニットの機種によっては変更可能です。  
詳しくはお賣上げの販売店にご相談ください。

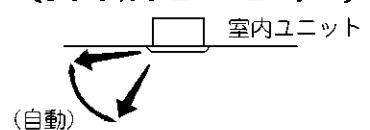
### 風向スイング

機械が自動で風向羽根を変化させます。

### (ダブルフロー・ラウンドフロー)



### (シングルフロー・コーナー)



### 風向固定

ご希望の位置に風向を固定させることができます。

### (ダブルフロー・ラウンドフロー)



### (シングルフロー・コーナー)



## 風向を自動で動かしたいときは

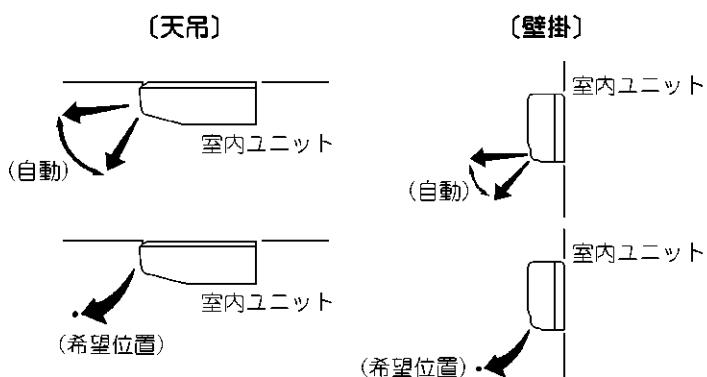
**1**

風向調節を押し、表示を  
「風向スイング」に切り替えます。  
「…」の表示が自動で動きます。

## 風向を固定させたいときは

**2**

「…」の表示がご希望の位置にきたときに、  
風向調節を押します。  
風向が固定され、表示が「風向」に  
切り換わります。



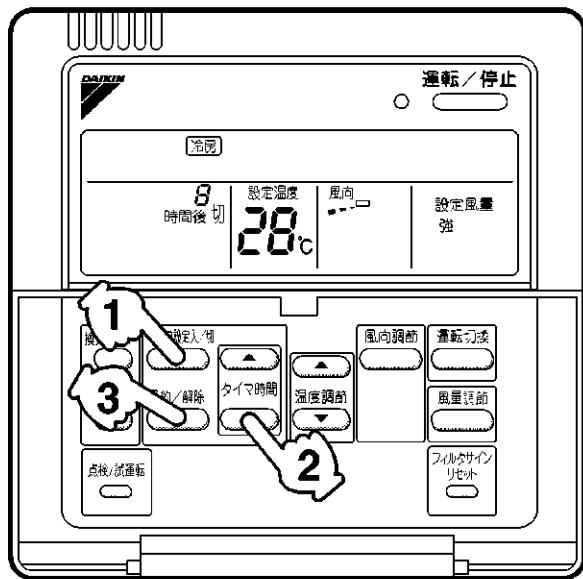
### 上下風向羽根の動きについて

- 下記の運転状態のときは自動で風向をコントロールするため、リモコンの表示とは異なる場合があります。

| 運転状態 | ● 設定温度より室温が高いとき(暖房運転の場合)<br>● 除霜運転時(暖房運転の場合)<br>(冷風が直接体に当たらないように、)<br>● 水平吹出しとなります。<br>● 水平吹出しの状態で連続運転した場合 |
|------|--|
|------|--|

- 天吊・壁掛け形で冷房時下吹出しの状態で連続運転した場合、自動で風向をコントロールしリモコンの表示も変わることがあります。

# タイマー運転のしかた



- 上の表示は「8時間後 切」の場合です。
- タイマー設定は1回のみ有効です。  
毎日タイマー運転をするときは、  
都度設定が必要です。

1 タイマー設定入/切を押し、

「時間後 切」か「時間後 入」

を選びます。

押すごとに表示が、

「表示なし」  
「時間後 入」←「時間後 切」

と切り換わります。

「時間後 切」または「時間後 入」が点滅します。

2 タイマー時間

を押し、時間を設定します。

「▲」を押すごとに1時間ずつ進みます。

「▼」を押すごとに1時間ずつ戻ります。

- 最大72時間まで設定できます。

3 予約/解除

を押します。

これで予約完了です。

「時間後 入」または「時間後 切」が点滅から  
点灯に変わります。

- 予約が済むと時間表示部に残り時間を表示します。

取り  
消し

もう1度予約/解除を押します。

表示が消えます。

タイマー運転を取り消したいときは

運転の内容と働き

ご希望の時間運転後  
停止させたいときは

時間後 切

例 時間を「8」にあわせると



「8時間後 切」と表示されます。  
予約完了から8時間後に運転を停止します。

(注) 運転停止後予約は解除され、表示が消えます。

ご希望の時間経過後運転  
を開始させたいときは

時間後 入

例 時間を「8」にあわせると



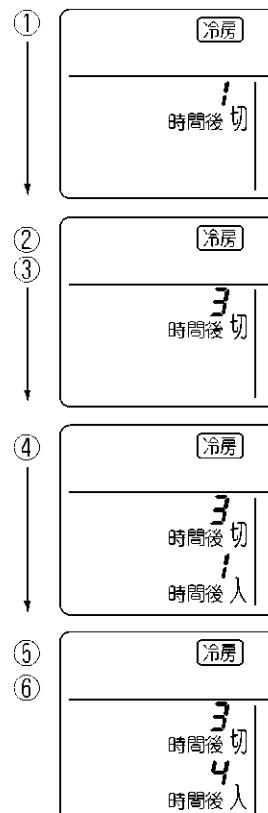
「8時間後 入」と表示されます。  
予約完了から8時間後に運転を開始します。

(注) 運転開始後予約は解除され、表示が消えます。

## 「時間後 切」と「時間後 入」を同時に予約したいときは

●下の例を参考して操作してください。

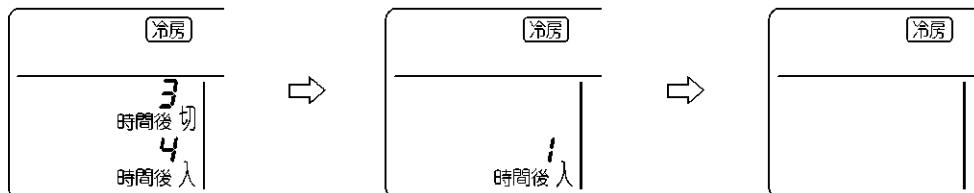
- 例** 3時間後に停止し、その1時間後に運転する場合
- ↓  
「3時間後 切」と「4時間後 入」とを設定します。
- ① タイマー設定入/切を押し、  
「時間後 切」を選びます。  
(「時間後 切」が点滅します。)
  - ② タイマー時間を押し、  
時間を「3」に設定します。
  - ③ 予約/解除を押します。  
「3時間後 切」が設定されます。  
(「3時間後 切」が点灯に変わります。)
  - ④ 次にタイマー設定入/切を押し、  
「時間後 入」を選びます。  
(「時間後 入」が点滅します。)
  - ⑤ タイマー時間を押し、  
時間を「4」に設定します。
  - ⑥ 予約/解除を押します。  
「4時間後 入」が設定されます。  
(「4時間後 入」が点灯に変わります。)  
これで同時予約完了です。



## 「時間後 切」「時間後 入」を同時に予約した場合

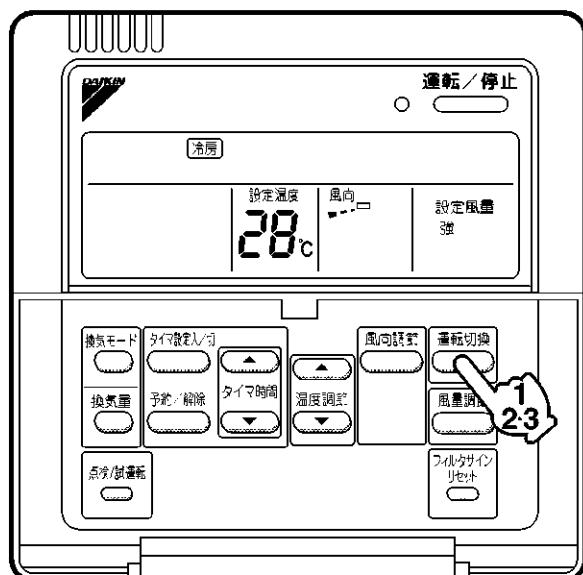
● 予約完了したときから同時に残り時間をカウントし、表示します。

- 例** 「3時間後 切」「4時間後 入」予約します。
- 3時間後に運転を停止します。  
停止した1時間後から運転を開始します。
- 運転開始後予約は解除されます。



# 冷暖選択権の変更および設定

リモコンより  
運転モードの切換えを行う場合



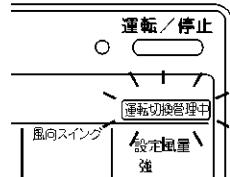
- 上の表示は冷暖選択権をもつリモコンの場合です。  
冷暖選択権をもたないリモコンには「運転切換管理中」が表示されます。

## 1. 準 備

冷暖選択権をもつリモコンを  
変更したいときは

冷暖選択権をもつリモコン  
(「運転切換管理中」表示のないリモコン)  
**運転切換**を約4秒間押し続けます。  
同一の室外ユニットまたはBSユニットに  
つながっているすべてのリモコンに  
「運転切換管理中」の表示が点滅します。

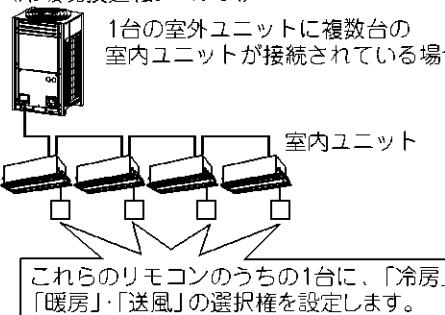
1



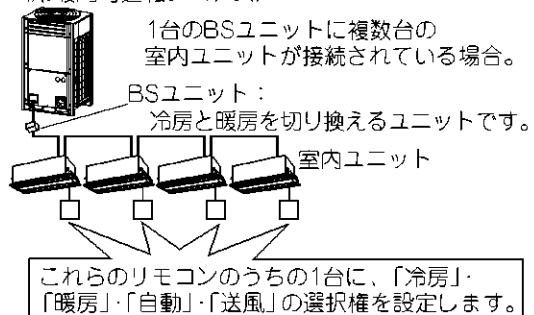
## 冷暖選択権とは

- 下図のような場合には1台のリモコンに冷暖選択権を設定する必要があります。

(冷暖切換運転システム)



(冷暖同時運転システム)



## 2. 選択権の設定

- 初めて電源を入れるときは  
電源を入れると、すべてのリモコンに  
「[運転切換管理中]」の表示が点滅します。

**2**

選択権を設定したいリモコンの**運転切換**を押します。  
これで設定完了です。  
このリモコンに冷暖選択権が設定され、「[運転切換管理中]」の表示が消えます。  
その他のリモコンには「[運転切換管理中]」が表示されます。

## 3. 運転の切換え

**3**

選択権をもつリモコン  
([運転切換管理中]表示のないリモコン)  
の**運転切換**を数回押し、ご希望の運転に切り換えます。  
押すごとに「送風」→「ドライ」→「冷房」→「暖房」→「送風」→…と表示が切りわります。  
このとき、ほかの冷暖選択権をもたないリモコンの表示も追従し、自動で同じ表示に切りわります。

**冷暖切換リモコンより  
運転モードの切換えを行う場合**

- すべてのリモコンに「[運転切換管理中]」が表示されます。  
このとき、リモコンは冷暖選択権をもちません。

## 運転の内容と働き

- 冷暖選択権を設定したリモコンおよび冷暖切換リモコンだけが「冷房」・「暖房」の選択をすることができます。  
(自動は冷暖同時運転システムのみ)

**1.**  
選択権をもつリモコン  
([運転切換管理中]  
の表示がないもの)

を「冷房」「暖房」「ドライ」に設定すると

他のリモコン  
([運転切換管理中]  
の表示があるもの)  
は

- 選択権をもつリモコンまたは、  
冷暖切換リモコンで設定した運転に  
切りわり、ほかの運転はできません。
- ただし、送風運転への切換えと  
「冷房」→「ドライ」への切換えは可能です。

**2.**  
選択権をもつリモコン  
([運転切換管理中]  
の表示がないもの)

を「送風」に設定すると

他のリモコン  
([運転切換管理中]  
の表示があるもの)  
は

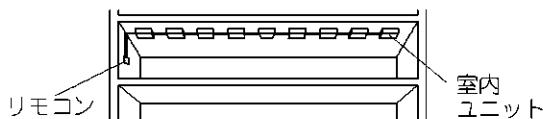
- 「送風」以外の設定はできません。

# 複数台同時運転の場合

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

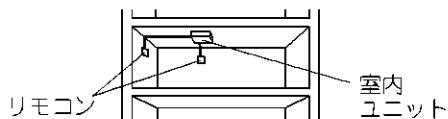
## 1つのリモコンでグループ制御

- 1つのリモコンで最大16台まで運転操作できます。
- すべての室内ユニットは同じ設定となります。



## 2リモコン制御

- 2つのリモコンで1台（グループ制御の場合は1グループ）の室内ユニットを運転操作できます。



お願い

- ・グループ制御・2リモコン制御の組合せや設定については、必ず販売店に確認してください。
- ・グループ制御・2リモコン制御の組合せや設定を変更される場合は、ご自分でなさらずに、必ずお買上げの販売店にご依頼ください。

# 上手な使いかた

- 冷房中は直射日光を入れないようにしましょう  
窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



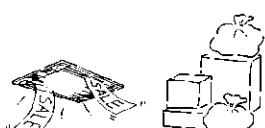
禁止

- ドアや窓を開けたままにするのをやめましょう  
運転効率が悪くなります。



禁止

- 吹出口・吸入口の近くにものを置くのをやめましょう  
能力が低下または運転が停止することがあります。



禁止

- 冷やし過ぎ・暖め過ぎに注意しましょう  
電気のムダ使いになります。



- エアフィルターはこまめに清掃しましょう  
汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。  
室内ユニット付属の取扱説明書をご覧ください。



- テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう  
映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。



- 長時間使用しないときは電源をしゃ断しましょう  
電源が入っていると、数ワット～数十ワットの電力(※)を消費するためです。  
ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。



※ 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。

- 風向調節を上手に使いましょう

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。風向は、冷房・ドライ時は水平に、暖房時は下向きにして、体に直接当てないようにしてください。



15,16 ページ参照



- タイマー運転を有効に使いましょう  
室温が設定温度になるまで時間がかかります。  
タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。

17,18 ページ参照



## シーズン始め・終わりのお手入れ

### △警告

- 可燃性のガス（ヘアスプレーなど）は本体の近くで使用しない  
ベンジン・シンナーで本体をふかない  
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



- 室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上の販売店に依頼する  
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。



### △注意

- 室内・室外ユニットの吸入口やアルミフィンにさわらない  
けがの原因になることがあります。



- 高所作業をするときは足場に気をつける  
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



- 室内・室外ユニットを水洗いしない  
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源をしゃ断する  
電源をしゃ断しないと感電やけがの原因になることがあります。



### シーズン始め

#### 確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸入口や吹出口をふさいでいませんか？  
障害物がある場合は取り除いてください。  
障害物の影響で風量低下による能力低下や機器の故障につながります。

#### エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。  
清掃のしかたは室内ユニット付属の取扱説明書をご覧ください。
- 清掃後は、フィルターサインリセットボタンを押してください。

#### 6時間以上前に電源を入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源が入れば、リモコン表示部に文字が表示されます。

### シーズン終わり

#### 晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防ぐためです。

#### 電源をしゃ断してください。

- 電源が入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。  
節電のためにも電源をしゃ断してください。
- 電源がしゃ断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

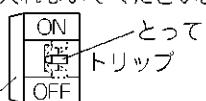
#### エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。  
清掃のしかたは室内ユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

お手入れについて

# 調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

| 症状   | 原因  | 処置   |
|--|---|--|
| <b>全然運転しない</b>                                     | 電源ヒューズが切れていませんか？  | 電源をしゃ断してください。  |
|  | 電源がしゃ断していませんか？  | <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。</li> <li>電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないでください。</li> </ul> <br>電源ブレーカー(漏電しゃ断器) |
|  | 停電ではありませんか？   | 停電復帰後、再運転してください。   |
| <b>運転するとすぐに止まる</b>                                 | 室内・室外ユニットの吸入口や吹出口をふさいでいませんか？  | 障害物を取り除いてください。   |
|  | エアフィルターが目づまりしていませんか？  | エアフィルターを清掃してください。<br>(室内ユニット付属の取扱説明書を参照)   |
| <b>よく冷えない、<br/>よく暖まらない、<br/>室外ユニットが運転・停止をくり返す</b>  | 室内・室外ユニットの吸入口や吹出口をふさいでいませんか？  | 障害物を取り除いてください。   |
|  | エアフィルターが目づまりしていませんか？  | エアフィルターを清掃してください。<br>(室内ユニット付属の取扱説明書を参照)   |
|  | 設定温度は適正ですか？   |  10,12 ページ参照  |
|  | 設定風量が「弱」になっていませんか？  |  10,12 ページ参照  |
|  | 風の吹出方向は適正ですか？<br>リモコンに室内ユニットから吹き出した風が当たっていませんか？<br>室内ユニットが吹き出した空気をそのまま吸い込んでいませんか？   |  15,16 ページ参照  |
|  | 窓や扉が開いていませんか？   | しっかり閉めてください。   |
|  | 直射日光が入っていませんか？  | 窓にカーテンかブラインドをつけてください。  |
|  | 在室人員が多すぎませんか？   |  |
|  | 室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？  |  |
| <b>マイコンドライ運転で<br/>冷えすぎる、<br/>冷えなくて<br/>湿気が取れない</b> | マイコンドライ運転開始時の室温は適温でしたか？<br>マイコンドライ運転は、運転モードを「ドライ」に変更したときの室温を設定温度として運転します。<br>この設定温度はリモコンが記憶しており、マイコンドライ運転中または運転を停止しても変更されることはありません。 | 冷えすぎる場合は、1度冷房運転に切り換えてから運転を停止し、適温になってから再度マイコンドライ運転をしてください。<br>冷えなくて湿気が取れない場合は、1度冷房運転し、適温になってから再度マイコンドライ運転をしてください。   |

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。  
 このとき、症状とシステム名と機種名(保証書に記載)をお知らせください。

次の場合は、故障ではありません。

| 症状                        |  | 原因  |
|---------------------------|--|---|
| <b>運転しない</b>              | 停止後、すぐに再運転したとき                           | リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。機械に無理がかかるないようコントロールしているためです。   |
|                           | 温度調節ボタンを押して、すぐ元の設定に戻したとき                 | 5分後に自動で運転を開始します。  |
|                           | リモコンに[集中管理中]が表示され、操作ボタンを押すと表示が数秒間点滅するとき  | 集中機器により、コントロールされているためです。表示の点滅はそのリモコンで操作できないことを示します。   |
|                           | 電源を入れた直後                                 | 運転準備のためです。<br>約1分間待ってください。  |
| <b>ときどき止まる</b>            | リモコンに「U4」「U5」と表示され、停止するが数分で運転を再開する       | エアコン以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信がしゃ断されて停止しているためです。<br>電気雑音(ノイズ)がなくなると自動で運転を再開します。   |
| <b>冷房・暖房の切換えができない</b>     | リモコンに[運転切換管理中]と表示されているとき                 | このリモコンに冷暖選択権がないためです。<br> <a href="#">19,20 ページ参照</a> |
|                           | リモコンに[運転切換管理中]と表示され、冷暖切換リモコンが設置されているとき   | 冷暖切換リモコンに冷暖選択権があるためです。<br>設置場所は販売店にご確認ください。   |
| <b>送風運転はするが冷房・暖房運転しない</b> | 電源を入れた直後                                 | 運転準備のためです。<br>約10分間待ってください。   |
| <b>風量が設定どおりにならない</b>      | 風量調節ボタンを押しても風量が変わらない                     | 室温が設定温度に達したときは、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転となります。<br>また、ほかの室内ユニットが暖房運転しているとき、送風に切り換ても微風運転となります。   |
| <b>風向が設定どおりにならない</b>      | リモコン表示と風向が異なる風向スイングができない                 | 自動でコントロールされているためです。<br> <a href="#">16 ページ参照</a>   |
| <b>白い霧が出る</b>             | <室内ユニット><br>冷房時、湿度が高いとき<br>(油分やホコリの多い場所) | 室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。 (※1)   |
|                           | <室内ユニット><br>冷房運転停止直後、室温・湿度が低いとき          | 熱いガス(冷媒)が室内ユニットに流れ込み湯気が発生するためです。  |
|                           | <室外ユニット><br>除霜運転中および除霜終了後、暖房運転に切り換わったとき  | 霜が溶け、湯気となって出てくるためです。  |
| <b>運転していないのに電力を消費する</b>   | 停止中                                      | 機械の始動を円滑にするため、停止中も数ワット～数十ワットの電力を消費します。  |
| <b>室外ユニットから水が滴下する</b>     | 運転中や運転停止後                                | 運転条件によって室外ユニット内の冷媒配管が結露するためです。 (※2)   |
| <b>室外ユニットの熱交換器に霜がつく</b>   | 暖房運転中                                    | 熱交換器中の冷媒が外気から熱を吸収するためです。  |

※1 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

※2 排水処理が必要な場合はお買上げの販売店にご相談ください。

次の場合は、故障ではありません。

| 症状                            |  | 原因   |
|-------------------------------|--|--|
| <b>音が出る</b>                   | <室内ユニット><br>運転開始直後の「ジーン」という音                 | 室内ユニットの電子膨張弁(※1)が作動する音です。1分ぐらいで音が小さくなります。  |
|                               | <室内・室外ユニット><br>冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音       | 室内・室外ユニットそれぞれにガス(冷媒)が流れている音です。   |
|                               | <室内・室外ユニット><br>運転開始・停止直後や除霜開始・停止直後の「シュー」という音 | ガス(冷媒)の流れが止まる音、または流れが変わるものです。  |
|                               | <室内ユニット><br>運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音  | ドレン排出装置が作動している音です。   |
|                               | <室内ユニット><br>運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音          | 樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。  |
|                               | <室内ユニット><br>停止中に出る「サー」「チヨロチヨロ」というかすかな音       | 複数台で運転するシステムなので、ほかの室内ユニットが運転しているときに発生します。油や冷媒が滞留するのを防ぐための音です。  |
|                               | <室外ユニット><br>運転音の音程が変わる                       | 圧縮機が周波数を変更するためです。  |
| <b>ホコリが出る</b>                 | 長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき                        | 室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。   |
| <b>ニオイが出る</b>                 | 運転中  | 部屋のニオイ・たばこのニオイなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。(※2)   |
| <b>室外ファンが回らない</b>             | 運転中  | 製品の運転を最適な状態にするためにファンの回転数を制御しているからです。   |
| <b>リモコンに「BB」と液晶表示が出る</b>      | 電源を入れた直後                                     | システムの初期状態を確認しているためです。最大1分程度表示します。  |
| <b>室外ユニットの圧縮機や室外ファンが止まらない</b> | 運転停止後  | 油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。約5~10分間で停止します。電源をしゃ断しないでください。  |
| <b>室外ユニットが熱い</b>              | 停止中  | これは機械の始動を円滑にするため、圧縮機を温めているためです。  |
| <b>停止しているのに暖気が出る</b>          | 停止中に暖かい空気を感じる                                | 複数台で運転するシステムなので、ほかの室内ユニットを運転しているとき、停止ユニットにもわずかな冷媒を流しているからです。   |
| <b>よく冷えない</b>                 | マイコンドライ運転中                                   | マイコンドライ運転は、室温をできるだけ下げないような運転をするためです。<br> ページ参照 |
| <b>除霜運転が長い</b>                | 暖房運転中  | 室外ユニットの熱交換器に付着した霜の量により除霜運転の時間が長くなる場合があります。(最長15分)  |

※1 室内ユニットに流れるガス(冷媒)の流量を制御する弁です。

※2 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

## ⚠ 警告

- 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源をしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。  
お買い上げの販売店にご連絡ください。



| 症状   | 次の処置をしてから連絡を  |
|--|---|
| 電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置がたびたび作動する。             | 電源を入れないでください。   |
| 運転スイッチの作動が不確実。                                     | 電源をしゃ断してください。   |
| エアコンから水がもれる。                                       | 運転を停止してください。  |
| リモコンの「運転ランプ」・「点検表示」・「ユニットNo.」が点滅または点灯し、「異常コード」が出る。 | <p>下記の<br/>「異常コード一覧表」を参照し、<br/>リモコンの表示内容を連絡してください。</p> <p></p> <p>異常で停止した場合に、<br/>再度運転させると、<br/>バックアップ運転機能により、<br/>数時間運転できる場合がありますが、<br/>必ず、販売店にご連絡ください。</p> <p>(BRC1Eタイプの場合は、リモコンの<br/>表示にしたがって異常コードと機種名<br/>を確認のうえ、連絡してください。)</p> |

### 異常コード一覧

| 運転ランプ | 点検表示 | ユニットNo. | 異常コード | 異常内容                               |
|-------|------|---------|-------|------------------------------------|
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | A0    | 室内ユニット・外部保護装置異常                    |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | A1    | 室内ユニット・プリント基板ASSY EEPROM設定不良       |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | A3    | 室内ユニット・ドレン水位系異常                    |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | A6    | 室内ユニット・ファンロック                      |
| 点灯    | 点滅   | 点滅      | A7    | 室内ユニット・風向調整電動機異常                   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | A9    | 室内ユニット・電子膨張弁駆動部異常                  |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | AF    | 室内ユニット・異常ドレン                       |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | A1-   | 室内ユニット・集塵機異常                       |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | AJ    | 室内ユニット・容量設定不良                      |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | C1    | 室内ユニット：プリント基板(親)→プリント基板(子)間伝送異常    |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | C4    | 室内ユニット・液管用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | C5    | 室内ユニット・ガス管用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)  |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | C9    | 室内ユニット・吸込空気用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良) |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | CA    | 室内ユニット・吹出空気用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良) |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | CJ    | 室内ユニット・リモコンセンサー異常                  |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E1    | 室外ユニット・プリント基板ASSY EEPROM設定不良       |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E2    | 室外ユニット・漏電検知作動                      |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E3    | 室外ユニット・高圧圧力スイッチ作動・漏電検知作動           |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E4    | 室外ユニット・低圧圧力スイッチ作動                  |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E5    | 室外ユニット・インバーター圧縮機ロック                |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E6    | 室外ユニット・定速圧縮機電動機過電流・ロック             |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E7    | 室外ユニット・ファン電動機ロック                   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | E9    | 室外ユニット・電子膨張弁駆動部異常                  |

## 異常コード一覧

| 運転ランプ | 点検表示 | ユニットNo. | 異常コード | 異常内容  |
|-------|------|---------|-------|---|
| 点滅    | 点滅   |         | F3    | 室外ユニット・吐出管温度異常  |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | F4    | 室外ユニット：湿り異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | F6    | 室外ユニット・冷媒・過充てん  |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | H3    | 室外ユニット・高圧圧力スイッチ不良   |
| 点滅    | 点滅   |         | H4    | 室外ユニット・低圧圧力スイッチ不良   |
| 点滅    | 点滅   |         | H7    | 室外ユニット・ファン電動機センター異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | H9    | 室外ユニット・室外空気用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)  |
| 点滅    | 点滅   |         | HC    | 蓄熱タンク・電動弁異常   |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | HC    | 蓄熱タンク・センサー異常  |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | HF    | 蓄熱コントローラ伝送異常(外部蓄熱指令異常)  |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | HJ    | 蓄熱タンク・排水・給水異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | J2    | 室外ユニット・圧縮機電流センサー異常、電流ヒューズ異常(断線・不良)  |
| 点滅    | 点滅   |         | J3    | 室外ユニット・吐出管(一次側)用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)  |
| 点滅    | 点滅   |         | J4    | 室外ユニット・熱交ガス管サーミスタ異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | J5    | 室外ユニット・吸入管(一次側)用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)  |
| 点滅    | 点滅   |         | J6    | 室外ユニット・空気熱交用サーミスタ異常(接触不良・断線・短絡・不良)  |
| 点滅    | 点滅   |         | J7    | 室外ユニット・液管(受液器出口)サーミスタ異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | J8    | 室外ユニット・均油管サーミスタ異常(接触不良・断熱・短絡・不良)  |
| 点滅    | 点滅   |         | J9    | 室外ユニット・二重管熱交出口サーミスタ異常(接触不良・断熱・短絡・不良)  |
| 点滅    | 点滅   |         | JA    | 室外ユニット・吐出管用圧力センサー異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | JC    | 室外ユニット・吸入管用圧力センサー異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | L4    | 室外ユニット・インバーター冷却不良   |
| 点滅    | 点滅   |         | L5    | 室外ユニット・圧縮機用電動機地絡、短絡、パワーユニット短絡   |
| 点滅    | 点滅   |         | L8    | 室外ユニット・圧縮機過負荷、圧縮機用電動機断線   |
| 点滅    | 点滅   |         | L9    | 室外ユニット・圧縮機ロック   |
| 点滅    | 点滅   |         | LC    | 室外ユニット・インバーター → 室外制御ユニット間伝送異常   |
| 点滅    | 点滅   |         | P1    | 室外ユニット・電源電圧不平衡、欠相   |
| 点滅    | 点滅   |         | P4    | 室外ユニット・パワーユニット温度センサー異常  |
| 点滅    | 点滅   |         | PJ    | インバーター・ファンドライバー組合せ不良、制御プリント基板種別設定不良   |
| 点灯    | 消灯   | 点滅      | U0    | 冷媒不足、電子膨張弁不良、閉鎖弁開け忘れなどによる低圧低下   |
| 点滅    | 点滅   |         | U1    | 逆相・欠相   |
| 点滅    | 点滅   |         | U2    | 電源電圧異常・臨時停電・インバータープリント基板 → メインプリント基板接觸不良  |
| 点滅    | 点滅   |         | U3    | 室外ユニット・試運転未実施   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | U4    | 室内ユニット → 室外・BSユニット間伝送異常<br>室外 → BSユニット間伝送異常   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | U5    | リモコン → 室内ユニット間伝送異常  |
| 消灯    | 点灯   | 消灯      | U5    | リモコン基板不良またはリモコン制御時設定不良  |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | U7    | 室外ユニット間伝送異常   |
| 点滅    | 点滅   | 消灯      | U8    | 主リモコン → 従リモコン間伝送異常(從リモコン異常)   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | U9    | 同一冷媒系統のほかの室内ユニット → 室外ユニット間伝送異常<br>同一冷媒系統のほかのBSユニット → 室内・外ユニット間伝送異常<br>チェック運転中に同一冷媒系統のほかの室内ユニットで異常発生         |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | UA    | 室内・BS・室外ユニット組合せ不良(機種(適用冷媒違い)・台数など)<br>室内ユニット・リモコン組合せ不良(該当リモコン)<br>BSユニット接続位置不良、誤配線異常、プリント基板種別設定不良(補助プリント基板) |
| 点灯    | 点灯   | 点灯      | UC    | 集中アドレス重複  |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | UE    | 室内ユニット → 集中コントローラ間伝送異常  |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | UF    | 系統未設定・誤配線   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | UH    | システム系不良   |
| 点滅    | 点滅   | 点滅      | UJ    | オプション機器伝送異常   |

※※ : システムは運転しますが、必ず表示内容を確認し、お買上げの販売店にご連絡ください。

# 製品の種類と運転音

## 仕様一覧表

|   |                    |                        |      |           |           |           |           |
|---|--------------------|------------------------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|   | シス テ ム             | Ve-up II シリーズ(新冷媒シリーズ) |      |           |           |           |           |
|   | 機 種                | RSXYP                  |      |           |           |           |           |
| 種 | 機 能                | 140                    | 160  | 224       | 280       | 335       | 400       |
|   |                    | 450<br>冷暖房兼用形          |      |           |           |           |           |
|   | ユニット構成             | 分離形                    |      |           |           |           |           |
|   | 凝縮器の冷却方式           | 空冷式                    |      |           |           |           |           |
|   | 送風方式               | 直接吹出形                  |      |           |           |           |           |
| 類 | 定格冷房能力(kW)         | 14.0                   | 16.0 | 22.4      | 28.0      | 33.5      | 40.0      |
|   | 定格ヒートポンプ暖房能力(kW)   | 16.0                   | 18.0 | 25.0      | 31.5      | 37.5      | 45.0      |
|   | 定格ヒートポンプ暖房低温能力(kW) | 13.6                   | 15.0 | 21.2/21.2 | 25.6/26.7 | 28.7/30.0 | 36.7/37.9 |
|   | 運転音(dB)            | 室外ユニット                 | 54   | 57        | 57/58     | 58        | 60        |
|   | GWP                | 2090                   |      |           |           |           |           |

|   |                    |                         |           |           |           |                         |           |  |  |
|---|--------------------|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------|-----------|--|--|
|   | シス テ ム             | Ve-up II Rシリーズ(新冷媒シリーズ) |           |           |           | Ve-up II Cシリーズ(新冷媒シリーズ) |           |  |  |
|   | 機 種                | RSEYP                   |           |           |           | RSXP                    |           |  |  |
| 種 | 機 能                | 224                     | 280       | 335       | 400       | 450                     | 224 280   |  |  |
|   |                    | 冷暖房兼用形                  |           |           |           | 冷房専用形                   |           |  |  |
|   | ユニット構成             | 分離形                     |           |           |           |                         |           |  |  |
|   | 凝縮器の冷却方式           | 空冷式                     |           |           |           |                         |           |  |  |
|   | 送風方式               | 直接吹出形                   |           |           |           |                         |           |  |  |
| 類 | 定格冷房能力(kW)         | 22.4                    | 28.0      | 33.5      | 40.0      | 45.0                    | 22.4 28.0 |  |  |
|   | 定格ヒートポンプ暖房能力(kW)   | 25.0                    | 31.5      | 37.5      | 45.0      | 50.0                    | — —       |  |  |
|   | 定格ヒートポンプ暖房低温能力(kW) | 21.2/21.2               | 25.6/26.7 | 28.7/30.0 | 36.7/37.9 | 39.1/41.0               | — —       |  |  |
|   | 運転音(dB)            | 室外ユニット                  | 57/58     | 58        | 60        | 60/61                   | 57/58 58  |  |  |
|   | GWP                | 2090                    |           |           |           |                         |           |  |  |

- (注) ●運転音はJIS B8616規格に準拠し、無響室換算した時の値です。  
 室外ユニットは、本体前方1m、高さ1.5mの位置における測定値を示します。  
 実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。  
 •/で示された数値は左が50Hz、右が60Hzです。その他は50Hz、60Hz共通です。  
 •この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

知つておいてください

# アフターサービスと保証について

## アフターサービスについて

### ■警告

#### ●分解や改造・修理をしない

水もれ・感電・火災の原因になります。  
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

#### ●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、  
水もれ・感電・火災の原因になります。  
お買上げの販売店にご依頼ください。



禁止

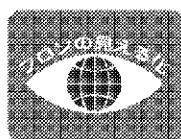
#### ●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、  
万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると  
有毒ガスが発生する原因になります。  
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。  
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことを  
サービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

## フロンについて



- 1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類を回収する必要があります。
- 2) 本シリーズ機にはGWP(地球温暖化係数)2090のフロン類が封入されています。

※1 この表示は、エアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることをご認識いただくための表示です。

※2 エアコンの取外し時はフロン類の回収が必要です。「■移設および廃棄などについて(30ページ)」をご覧ください。

## 本製品を所有されているお客様へのお願い事項

JRA GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

JRA：(社)日本冷凍空調工業会

製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、設置時および設置後の定期的な冷媒漏えい点検(保守点検など)による遠隔からの冷媒漏えいの確認などの総合的サービスも含む(いずれも有償)をお願いします。

上記の漏えい点検は、漏えい点検資格者が実施し、「漏えい点検記録簿(32ページ参照)」にその結果と、廃棄する時までのすべての点検記録が記載されますので、お客様による内容の確認とその管理(管理委託含む)をお願いいたします。

詳細につきましては、販売店または弊社窓口にお問合わせ、または下記サイトをご覧ください。

- JRA GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」：<http://www.jraia.or.jp/>
- フロン漏えい点検制度：<http://www.jarac.or.jp/>

## ■別売品について

お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
- 製造番号と据付年月日
- 故障状況——できるだけ詳しく  
(リモコンの表示内容もお知らせください。)
- ご住所・お名前・お電話番号

## ■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

## ■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切り後9年間保有しています。

## ■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。耐塩害・耐重塩害仕様の室外ユニットを使用した場合でも、腐食に対して万全ではありません。機械の設置・メンテナンスについては、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

## ■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。

(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。)

②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

| 主要部品名                       | 点検周期 | 保全周期<br>[交換または修理] |
|-----------------------------|------|-------------------|
| 圧縮機                         | 1年   | 20,000時間          |
| 電動機<br>(ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など) |      | 20,000時間          |
| 暖房用補助電気ヒーター                 |      | 8年                |
| 空気清浄ユニット                    |      | 25,000時間          |
| プリント基板類                     |      | 5年                |
| 熱交換器                        |      | 20,000時間          |

| 主要部品名                    | 点検周期 | 保全周期<br>[交換または修理]         |
|--------------------------|------|---------------------------|
| バルブ(電磁弁・四方弁など)           | 1年   | 20,000時間                  |
| センサー<br>(サーミスタ・圧力センサーなど) |      | 5年                        |
| ドレンパン(注3)                |      | 8年                        |
| 超音波式加湿器                  |      | 6ヶ月                       |
| リモコンおよびスイッチ類             |      | 4年                        |
| ファン                      |      | 25,000時間<br>室外：10年、室内：13年 |

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。

適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。

また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

注3. 建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物をご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

注4. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。

詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合せください。

## ■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2.「交換周期」の一覧

| 主要部品名       | 点検周期 | 交換周期 |
|-------------|------|------|
| ロングライффィルター | 1年   | 5年   |
| 高性能フィルター    |      | 1年   |
| 平滑コンデンサ     |      | 10年  |

| 主要部品名        | 点検周期 | 交換周期 |
|--------------|------|------|
| ヒューズ         | 6ヶ月  | 10年  |
| クランクケースヒーター  |      | 8年   |
| 自然蒸発式加湿器(注3) |      | 3年   |

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。

適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

注3. 建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物をご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合せください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

## ■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

## ■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合せください。

## 保証書について

---

### ●この製品には保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

### 保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

## 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

| 年 月 日 ~ 年 月 日 |            |           | 管理番号           |
|---------------|------------|-----------|----------------|
| 施設所有者         |            |           |                |
| 施設名称          |            |           | 施設製造者          |
| 施設所在地         |            |           | 設置年月日 西暦 年 月 日 |
| 運営管理責任者       |            |           | 製品区分           |
| 点検<br>事業者     | 会社名<br>所在地 | 責任者<br>電話 | 型式             |
| 使用冷媒          |            |           | 製番             |
| 作業年月日         |            |           | 設置方式           |
| 点検理由          |            |           | 検知装置           |
| 初期充填量(kg)     |            |           | 合計充填量          |
| 回収量(kg)       |            |           | 合計回収量          |
| 監視・検知手段(最終)   |            |           | 排出係数(%)        |
| セシサー型式        |            |           |                |
| セシサー基準        |            |           |                |
| 実績(月)         |            |           |                |
| 点検者名          |            |           | 確認者            |
| 資格者証No.       |            |           | チラシガルナNo.      |

**MEMO**



# お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の**ご購入店**へご連絡ください。

|       |     |       |   |   |   |
|-------|-----|-------|---|---|---|
| ご購入店名 | TEL | 据付年月日 | 年 | 月 | 日 |
| _____ |     |       |   |   |   |

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。

電話番号をよくお確かめのうえ、おかげ間違いのないようにお願いします。

## コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に**186**をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 0120-88-1081 (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問合わせは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。

(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

1205

## ダイキン工業株式会社

本 社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル  
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル  
郵便番号 108-0075

3P249333-12N M02A081F (1509) [FS]